

市民の声、女性の願いを議会へ

市議会に挑戦する
高橋さつきさん

高橋さつき全力で頑張ります！

後援会のみなさん、こんにちは！高橋さつきです。

鈴鹿市民の思いや願いを市政の場で実現していくため来春の市議会議員選挙に立候補を決意しました。全力でがんばりますので後援会のみなさんの応援よろしくお願いします。

日本共産党は4年前の選挙でみなさんのご支援によって、それまでの2議席から3議席になりました。そして今回、長年にわたって地域に貢献されてきた森川ヤスエ議員が来年、県議会議員に挑戦することになりました。今回の選挙は森川さんの議席を守り、引き続き3議席を維持するために負けられない選挙です。



立候補の要請があったとき正直言って、私では荷が重すぎるのではないかと悩んで、家族に相談したら『やらずに後悔するより頑張ったらええやん』と言われ、なるほど！とその一言が背中を押してくれました。



私は歯科衛生士の仕事を20年以上していますが、保険料、窓口負担も上がり、生活が苦しくなっているのを感じます。治療代が払えずに市販の痛み止めを飲ませてしのぐ親子もいました。それは氷山の一角だろうと思います。3歳児まで窓口無料になりましたが、子どもの健康を考えるなら鈴鹿市でも窓口無料の年齢を中学卒業まで引き上げるべきではないでしょうか。

子育て世代の代表として、給食費の値下げや、学校の環境整備にも声をあげていきたいと思います。洋式トイレの設置、普通教室以外にも体育館の冷暖房など、学校はいざという時の避難場所にもなりますので。

私の周りには老々介護をしている方も多くいます。自宅介護に限界を感じ、一時は人生を終わりにしようと考えた方もいます。やっと入れた施設も高額で、入れたのはいいが命が尽きるのが先か金尽きるのが先か不安というお話を聞いた時、胸が苦しかったです。その方は気持ちも時間も余裕がなく、来院時に歯はボロボロでした。また、来たくても交通の便がなく来られない方もいます。誰もがお金の心配なく安心して治療を受けられるように、運転できない方々が気軽に利用できる交通機関の整備を訴えていきたいと思っています。



安倍政権のもとで税金は上がるばかりで福祉は削られ、軍事費は過去最高になり、戦争可能な体制に憲法を変えようとしている今がとても怖いです。この夏、広島に行きましたが、核兵器のない平和な未来を子どもたちの世代に手渡すことは私たち大人世代の義務だと思います。これから子ども、女性、高齢者、障がい者などの生活弱者の方の、声に出せない声を聴き 自分のもので、皆さんのお役に立てるよう成長していきたいです。

みんなが安心して笑顔で暮らせる鈴鹿をめざして力いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

高橋さつき

鈴鹿市に 気持ちのいい風を

初めて
お会いし
た時、笑
顔がステ
キで、さ
わやかな
風のような
人だなあと思いました。



そして、中学校給食実現のために頑張っている姿を見て、まっすぐな人とも・・・。
若いのに、還暦を迎えたおばさん達に囲まれても、とってもし自然体で仲良く接してくれます。(布遊び↓裁縫教室で一緒にしています)一言で言うって、とっても大好きです。

政治の世界は、一筋縄にはいかないでしょうが、さつきさんなら、豊かな感性で、いろんなことを吸収して成長されていくでしょう。だって、あなたは、さつき(五月)の風。きっと鈴鹿市に気持ちのいい風を吹かせてくれることでしょう。応援しています。

(玉垣 道家 志真子)

がんばれ、さつきさん 応援メッセージ

泣こよか ひっこべ

私には妹というよりもまだ若いさつきさん。私はさつきさんを誠実な人、頑張る力!のある人、明るくて飾らない人、そして柔らかい感性の人と思っています。
磨けば光る!磨いて、磨かれて。さつきさん



「泣こよか、跳ぼうか。泣こよか、跳ぼうよ。」
鹿兒島のことわざで、方言では、
「泣こかい、跳ばかい。泣こよか、ひっこべ。」
はそんな人。それでも、時にはへこむときもあるでしょう? そんなとき、こんな言葉はどうでしょう。市民の暮らしをまず一番に考える市議さん誕生をめざして、みんなで走っていきましょう。

(桜島 谷口 礼子)

感受性

豊かな女性

私が入党した時から隣の席で、綱領や憲法の勉強、支部会議での話し合いや楽しいおしゃべり、イベントや講演会の参加などさつきちゃんといっしょに行動することが多くあります。党のことで分からない私の質問に丁寧に答えてくれて、答えられない質問には「あーそれは私にも

分からへん...てへっ!」と屈託なく正直に答えてくれます。(憎めな〜い)
さつきちゃんへ感じる印象は、人の気持ちや立場を理解しようとし、決して上から目線ではなく、気さくに接してくれる感受性の豊かな女性です。

ある日、さつきちゃんが市議会議員に立候補するとの報告を受け、豆鉄砲を食らった鳩は



(A. Iさん)

がんばれ、さつき



お兄さんから
メッセージ

妹が市議へ立候補すると聞き、またえらいものに担がれたもんだと思った。

しかし、我が町をみると首長こそ女性であるものの、議会においてはまだまだである。

また、声が大きい女性は『生産性0』とか言う困った人が目立つ。

妹には市民の声、女性の声を議会に届け、女性が活躍する鈴鹿市へ向けて頑張ってもらいたい。

brother R

女性が活躍する 鈴鹿市へ

(インタビュー)

青天の霹靂

初めて聞いたときは青天の霹靂でした。私が表に出るのはいやですが、本人が決意したら応援せなと思います。家族は少ないので、みなさんの応援が頼りです。(お父さんが生きていられたらとお聞きすると)「やめとけ、そんなくそかいだるいこと。さつきでええんか」と言うかも知れませんが、これから外へ出ることが多くなったら家事で支えなあかんと思っています。私ももうちょっと若かったらと思いますが、身体大事に長生きしませんとね。

(原 信子さん)

母の思い
原信子さんに
インタビュー

統一地方選挙と参議院選挙での日本共産党の大きな躍進のために

鈴鹿市日本共産党後援会長

谷口 茂

■日頃、日本共産党へのご支援、ご協力ありがとうございます。来年春の統一地方選挙と、そのあとの参議院選挙まであと半年あまりとなりました。安倍暴走政治にストップをかけ、国民が主人公の新しい政治を実現していくためにも、この二つの大きな選挙で日本共産党が大きく前進できるように後援会としても頑張る決意です。あらためてみなさんのご支援、ご協力よろしくお願ひします。

■鈴鹿市では6期24年にわたって市民の声を議会に届けてがんばってきた森川ヤスエさんが県会に挑戦します。試され済みの政治家森川さん、「女性の声を県会に」という立場で鈴鹿では初の共産党県会議員誕生をめざし全力投球の毎日です。そして市議会では森川

さんのバトンを引き継いだ高橋さつきさんが議席をめざします。高橋さつきさんは学童保育の運営委員長や「中学校給食を実現する会」の会長として活動してきて、働くお母さんの気持ちのわかる人です。また、医療現場で働く中、福祉を充実させる政治の実現を日々願ってききました。きっとみんなの声を議会にとどけてくれるはずですよ。そして9期目をめざすベテランの石田秀三さん、再選をめざしてがんばる橋詰圭一さんを引き続き議会に送ってください。鈴鹿市民の切実な声や要望を議会の場に届け、実現していくためには3人の議席がどうしても必要です。

■きびしい選挙戦になることも予想されますが、支持者、後援会が一つになってがんばれば、県会の議席獲得、市議会の3議席確保は十分可能です。ぜひ、お力をお貸しください。そしてまわりのみなさんにも支援の輪を広げてください。よろしくお願ひします。





森川ヤスエの

こころに夢を

翁長雄志知事の急逝に涙して

翁長前知事に「ありがとうございます」そして「ゆっくり休んでください」と申し上げます。

4年前の沖縄県知事選挙、「保守と革新ではない、オール沖縄でたたかう」というその決意の表れに感動して、応援に出かけた私。早朝7時から米軍基地のゲート前近くに立ちました。通勤車輛が行き交う交差点に「翁長・城間」ののぼりがはためく。翁長知事のスピーチはすばらしい。沖縄県民の平和への思いが強く込められていると感じました。「自ら新基地を誘致はしない、負キテーナイピランドー」。



未来永劫基地の中で暮す沖縄は返上しよう。本当は心穏やかに暮らしたいのに、基地あるがゆえに受ける数々の不幸。万国津梁（世界の架け橋）をめざす地としての沖縄に戻したい。そんな思いがひしひしと伝わってきました。



4年前の沖縄県知事選挙応援

翁長知事夫人のあいさつで「万策尽きたら二人で辺野古の浜に座りこもうな」と翁長さんがいとっていると発言を聞いた時、この人は県民を決して裏切らないだろうと確信しました。



オール沖縄のたたかいを見てきた私は、野党統一や市民共同の力の大きさを沖縄で学ばせていただきました。

知事になってからの翁長さんを見てみると、お元気だったころの瀬長亀次郎さんを、ふつふつと思ひ起こさせました。米軍と対峙しても一歩も譲らず、民意を信頼して、しなやかに民衆の心をつかんでいく瀬長さんのあの強さ、そして好んで使った県民を励ます言葉「不屈」の心。

米軍から日本政府に相手が変わった現在、国と対峙する翁長さんが好んで使っていた「負キテーナイピランドー」「チバラナヤーサイ」。どんなときにもあきらめない心、力をあわせて頑張りましょうと県民を励ました。

平和の砦沖縄県知事・この選挙に勝つことが憲法9条を守る力になると信じています。

私も鈴鹿で、来年の参議院選挙までをめざして、勝つためにあきらめない強さとしなやかさをもって頑張ります。みなさんのお力をたくさん貸してください！！

(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)



瀬長亀次郎記念「不屈館」にて



石田 秀三の

かけある記

杉本龍造氏の思い出

8月25日、文化会館でミュージカル「杉本市長と私」を観ました。若い人たちが郷土・鈴鹿への思いを、戦後の鈴鹿市の基礎を造った杉本龍造市長の姿を再現する形で表現した、すばらしいステージでした。

杉本氏は1997年2月に亡くなりましたが、その時に私が「議会レポート」37号に書いた「杉本龍造氏の思い出」という文章を、以下に紹介します。

「けじめ」を大事にした人

私は1975年4月に鈴鹿市役所に就職したのだが、杉本市長はその5月に引退して野村仲三郎氏にバトンタッチしたので「すれちがい」となった。辞令交付式でお顔を拝見したのが、最初の出会いであった。杉本氏は「あなた方は、私が最後に辞令を渡す人たちです。どうぞ市民のためにがんばって下さい」と、にこにことした顔ながらきりりとした声で訓示をされたのであった。

つぎに杉本氏とお会いしたのはそれから10年後で、私が図書館の職員としてカウンターにいた時であった。あのよく太った身体で歩いてきて、あちこち見た後で「次郎物語はどこにありますか？」と尋ねてこられた。探してさしあげると、たいへん喜ばれた。神戸堅町の自宅から、ぐるりとバスを乗り継いで来られたとのことであった。よく「杉本市長は、市民会館の切符も自分の、きちんと並んで買った」と聞かされたが、公私の区別はしっかりつける人だったようである。29年もの在任中に自身のスキャンダルが一つもなかったことも、その表れであろう。

叙勲記念品は世界地図帳

次にお会いしたのは、私が議員になってすぐの市職員OB会で、しっかりと手を握って励まされた。最後に記憶にあるのは、叙勲の祝賀会であいさつをされた時、話が自分の母親のことに及ぶと、にわかに涙をぼろぼろ流して参加者の前で号泣されたので、驚かされた。その日の参加者への記念品は「世界地図帳」であった。「広く世界のことを勉強しなさい」との、後輩へのメッセージが込められていたのだろう。

保守政治家ではあったが、一本スジのとおった、人にも自分にも厳しい方であったというのが、私の杉本氏への変わらぬ印象である。一度でいいからゆっくりとお話を伺ってみたいかったと思う。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)



はしづめ圭一の

はじめの一步

共産の名前の由来

～共同体が生産活動にあたる～

歳を重ねても知らないことがいっぱいあります。日本共産党の共産という言葉もそのひとつでした。日本共産党は、英語でJapanese Communist Partyと書きます。このコミュニスト【Communist】を何故「共産」と訳すのか？コミュニティーセンターなどのコミュニティー【community】は「共同体」と訳して解りやすいのに、という疑問です。

不破哲三さんの著書を読んでやっと解りました。要約すると、 Kommunismus という言葉は、明治維新のあとかなり早くから日本に入ってきて、翻訳者達は適切な訳語を見いだすのに苦労した。そういう中で、1881

年（明治14年）、東京大学の事業として、学術上の翻訳の統一を図ることが計画され、その中で Kommunismus の訳語として「共産論」が選ばれた。この訳語の特徴は、共同体を表す「共」の語に生産の「産」の語が加わっていること。共同体が生産活動にあたる、という意味が含められているそうです。

新しいことを覚えると、気持ちが元気になります。

今年の暑い夏、中国東北部（旧満州／中国では偽満州という）を旅してきました。詳しくは私のブログをご覧ください。写真はハルピンの731部隊跡です。



(鈴鹿市議会議員 橋詰圭一)

新シリーズ 私の趣味 ⑥

合唱と私

萩森美知子さん（石薬師）

今年5月、鈴鹿混声合唱団の30周年記念コンサートを終えました。私もその一員として、四声でハーモニーをつくり、精一杯歌うことができ満足しています。

私が鈴鹿混声合唱団に入ったのは、30年前。現在は、鈴木みづ絵先生に指導していただいて、毎週木曜日、70人の団員さんと声を合わせて、楽しく歌を歌っています。みづ絵先生のトークに何度も笑いも起こり、2時間の練習時間もあっという間に過ぎていきます。

私がこのコンサートで歌った歌の中で、一番好きな歌は、佐藤眞作曲 組曲「旅」の中の「行こうふたたび」です。自分が生きていく中でくじけそうになった時、この歌を歌うと心が熱くなり希望が湧いてきます。特に、「ゆこう～ゆこう～ふたたび旅立とう～」のフレーズが好きです。その当時の自分の心持ちが思い出されます。

もう一つ好きな歌があります。それは、{四日市の第九}でも歌ったのですが「群青」です。東日本大震災によって遠く散りぢりになってしまっ



た友を想い、また、この町（福島県南相馬市小高）で会おうと友にエールを送っています。力強く美しい曲です。

私は、近年、足腰が少し弱くなって来ていますが、こんな素晴らしい歌をこれからも歌い続けたいと思っています。

私のおすすめ 簡単レシピ

アジ 鱈の酢の物



自由ヶ丘 高木利江

(材料) 2人分

鱈 10cmくらい 10尾
酢 100cc
大葉 5枚
塩 少々

(作り方)

① 鱈は塩をまぶして1時間くらい冷蔵庫に入れておく。
次に冷蔵庫から取出し、指で3枚におろし、身をほぐす。

② ほぐした身をザルの中に入れて、水道水を出しっぱなしにして、ザルを動かしながら身が白くなるまで洗う。

③ 白くなった身を酢につけて1～2時間置く。食べる時、青じそを刻んだのと一緒に醤油をかけて食べる。

簡単です。酒の友に、ご飯のおかずどうぞ。

絵手紙

藤本明子さん



編集後記

高橋さつきさんのデビューに合わせて「後援会だより・重陽号」を発行することができました。あたたかい応援メッセージありがとうございました。暑さはまだまだ続きます。健康に留意してがんばりましょう (よ)